



TOYOTA BOSHOKU

東証 1 部 証券コード 3 1 1 6

2020年度（2021年3月期）

期末 決算説明会

開催日：2021年4月28日

目次

1. 2020年度 決算状況
2. 2021年度通期 業績予想
3. 参考情報

目次

1. 2020年度 決算状況

2. 2021年度通期 業績予想

3. 参考情報

- ◆伊藤でございます。
- ◆本日は、お忙しい中、当社の2020年度 期末決算説明会にご出席いただきまして、ありがとうございます。
- ◆はじめに、2020年度期末の決算状況、
続いて、通期の業績予想をご説明させていただきます。
- ◆それでは、2020年度期末の決算状況について
ご説明いたします。

1-1) 2020年度 決算状況 連結決算概要

(億円)

	19年度 実績		20年度 実績		増減	
売上収益	13,726	100.0%	12,721	100.0%	△1,004	△7.3%
営業利益	477	3.5%	571	4.5%	93	19.5%
税引前利益	480	3.5%	573	4.5%	92	19.3%
当期利益*	247	1.8%	311	2.5%	64	25.8%

*親会社の所有者に帰属する当期利益

1株当たり四半期利益		132円88銭	166円93銭	34円05銭
為替レート	USドル	109円	106円	△3円
	1-円	121円	124円	+3円

売上収益

■主に第1四半期でのコロナ影響に伴う減収の一方、下期以降グローバルでの需要回復により減収額は縮小

営業利益

■グローバルでの需要回復に加え諸経費効率化等の収益確保策により、下期は過去最高の営業利益

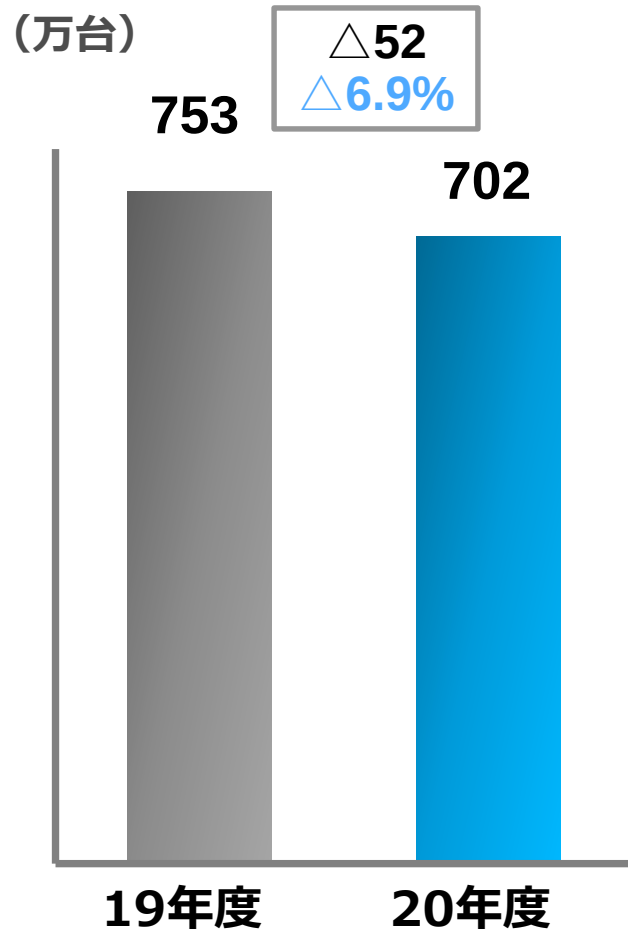
スクリプト

- ◆売上収益は、前期比1,004億円減少の1兆2,721億円。
- ◆営業利益は、前期比93億円増益の571億円となりました。
- ◆税引前利益は、前期比92億円増益の573億円。
- ◆親会社の所有者に帰属する当期利益は、
前期比 64億円増益の311億円となりました。

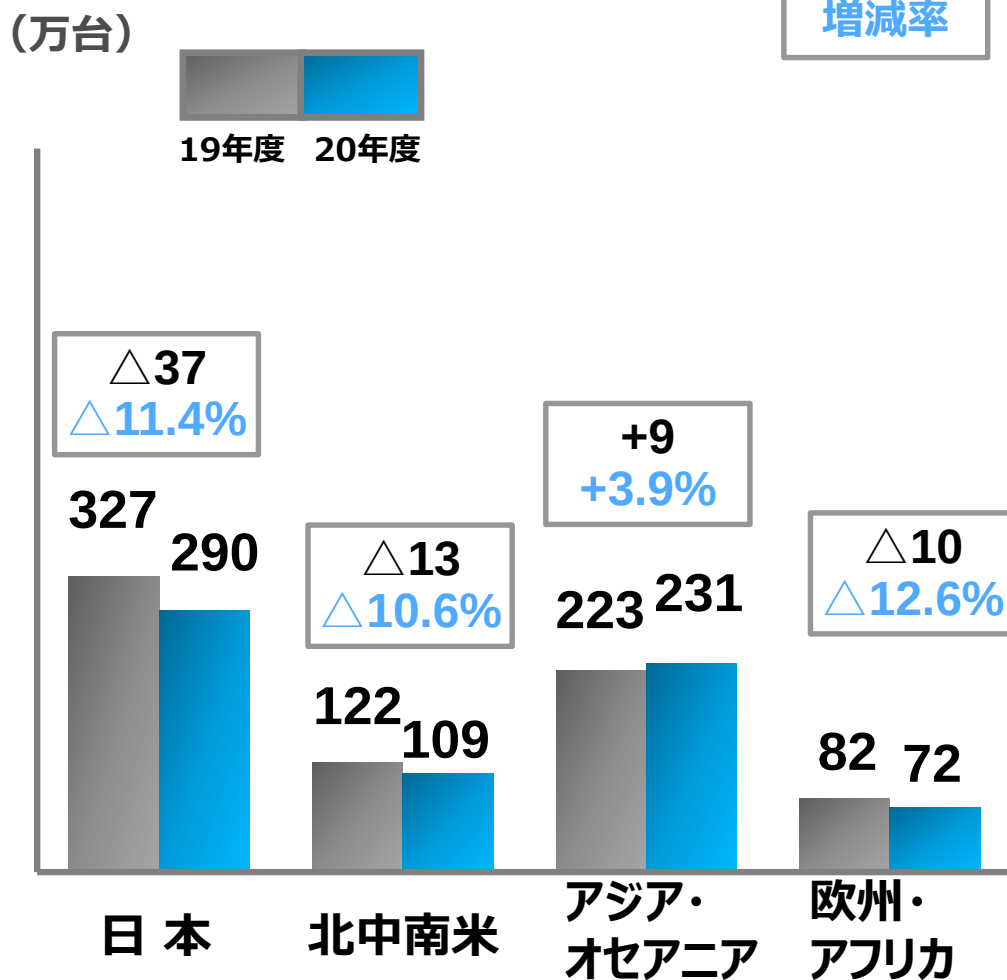
- ◆為替レートは、1ドル106円、1ユーロ124円でございます。
なお、前年同期からの為替影響につきましては、
売上収益でマイナス141億円、営業利益でマイナス2億円、
減少する方向に効いております。

1-2) 2020年度 地域別シート生産台数

連結全体



セグメント別

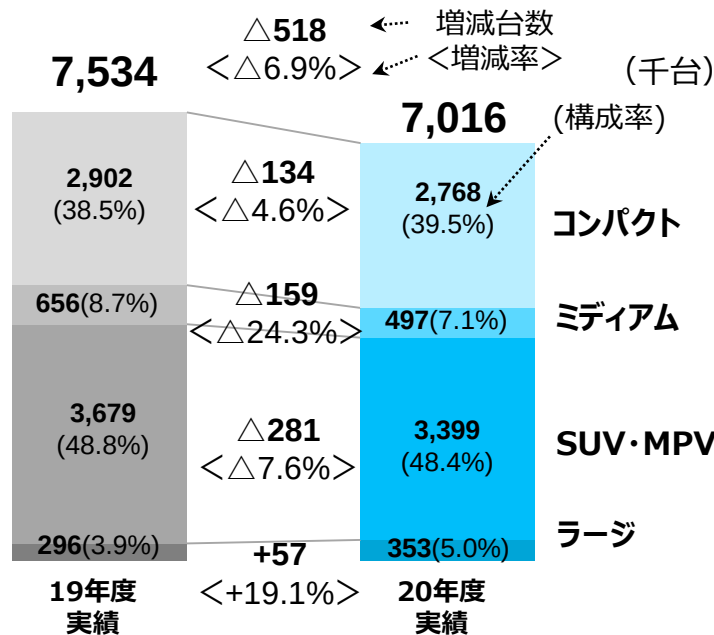


- ◆ 続きまして、私どもの主力製品であるシート生産台数ですが、連結全体では、前期比マイナス52万台の702万台となりました。
- ◆ 地域別は、ご覧の通りとなっておりますが、詳細は、地域別のページにてご説明いたします。

1-3) 2020年度 決算状況 連結 売上収益・営業利益

主に第1四半期でのコロナ影響による減益要因はあるものの、諸経費の効率化や合理化などの収益確保策を実施し増益

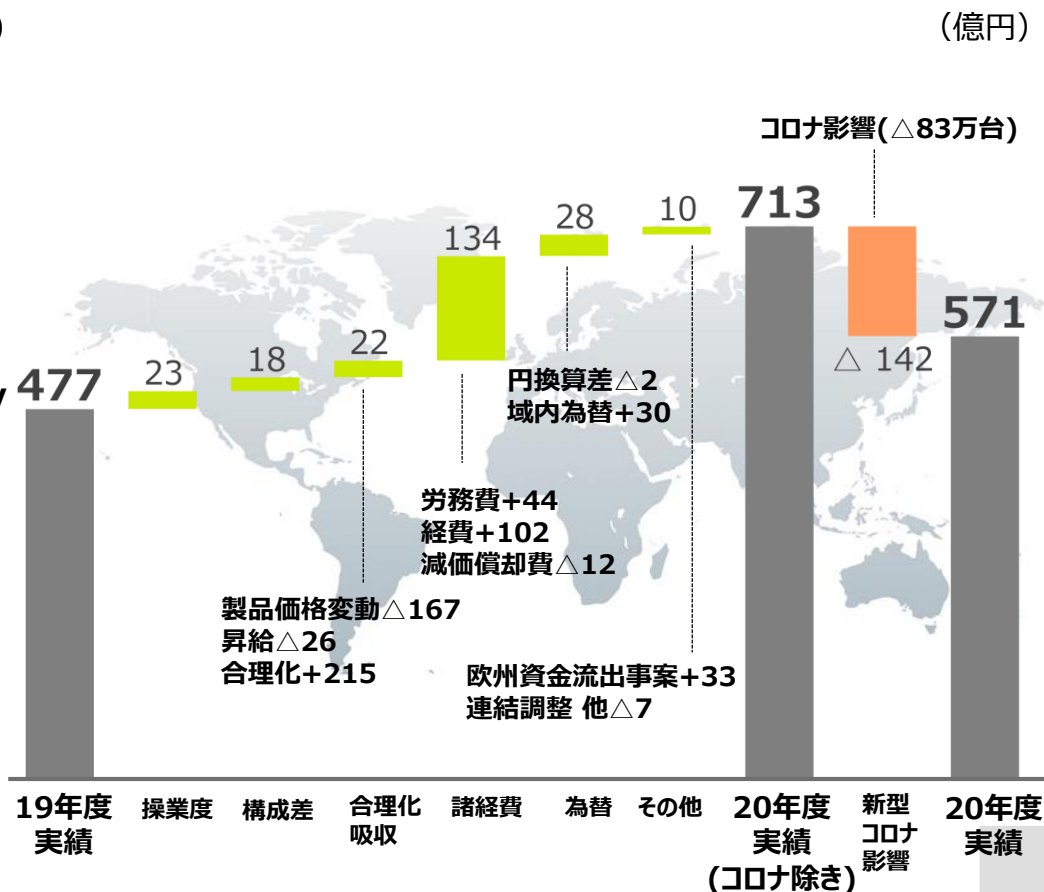
台数・車種構成の変化



当期の経営成績

	19年度実績	20年度実績	増減
売上収益	13,726	12,721	△ 1,004
営業利益	477	571	93
営業利益率	3.5%	4.5%	-

営業利益の増減解析 (前期比)



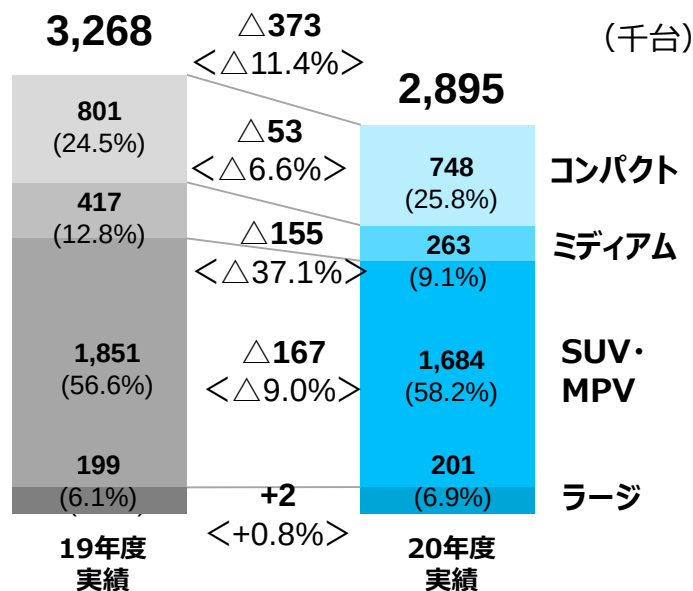
スクリプト

- ◆次に、連結の売上収益・営業利益についてご説明いたします。
- ◆台数ですが、前期比マイナス51万台の702万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比1,004億円減少の1兆,2721億円。
- ◆営業利益は、
主に第1四半期での新型コロナウイルスによる影響はあるものの、
諸経費の効率化や合理化などの収益確保策を実施し、
93億円増益の571億円となりました。
- ◆なお、新型コロナウイルスによる減益影響は
マイナス142億円でございますが、主な内容は、
減産影響や雇用維持による労務費負担などでございます。

1-4) 2020年度 決算状況 日本 売上収益・営業利益

主に第1四半期でのコロナ影響による減益要因はあるものの、車種構成変化や、働き方の見直しによる労働時間短縮・経費低減などの諸経費の効率化により増益

台数・車種構成の変化

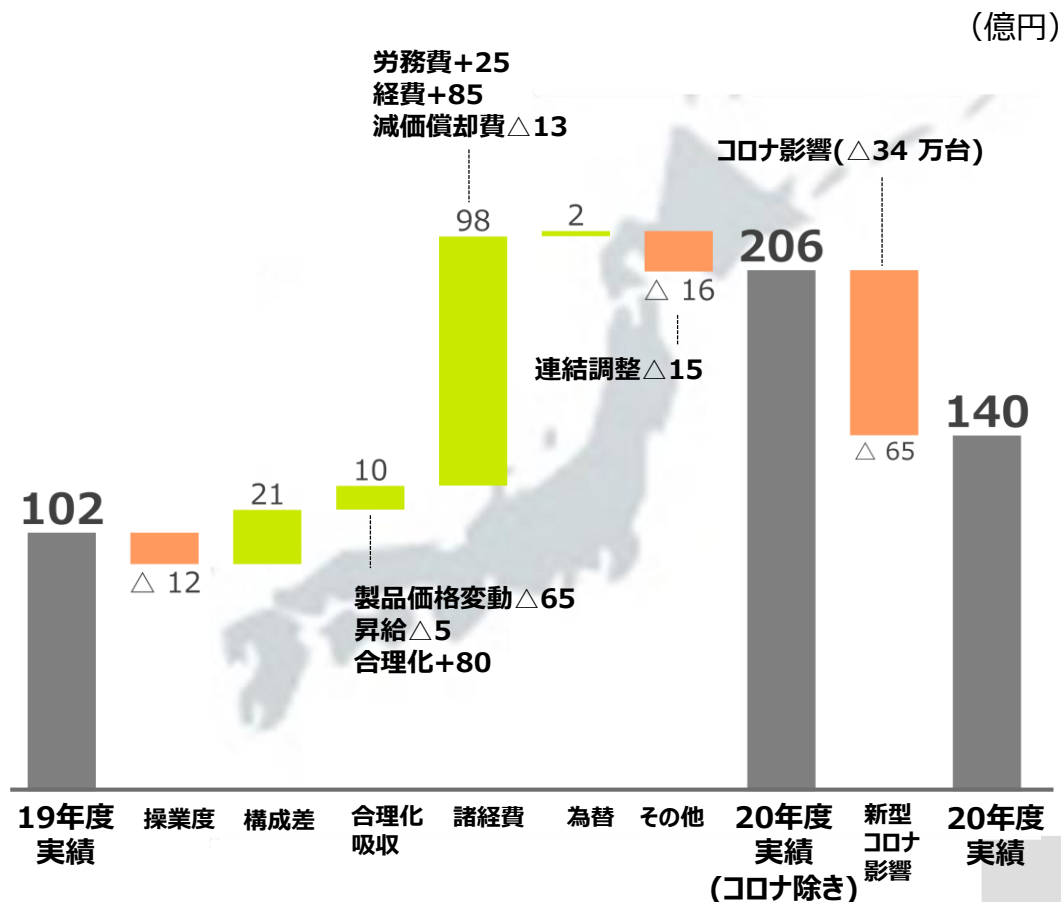


当期の経営成績

(億円)

	19年度実績	20年度実績	増減
売上収益	7,683	6,996	△686
営業利益	102	140	38
営業利益率	1.3%	2.0%	-

営業利益の増減解析 (前期比)

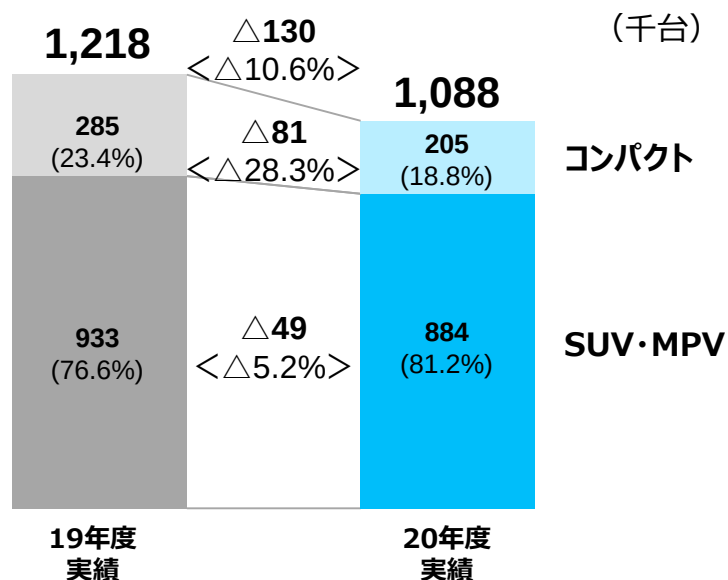


- ◆次に、日本ですが、
- ◆台数は、前期比マイナス37万台の290万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比686億円減少の6,996億円。
- ◆営業利益は、
主に第1四半期でのコロナ影響による減益はありますが、
ITツールの活用・テレワーク拡充など働き方の見直しによる労働時間の短縮や経費低減などの諸経費の効率化により38億円増益の140億円となりました。

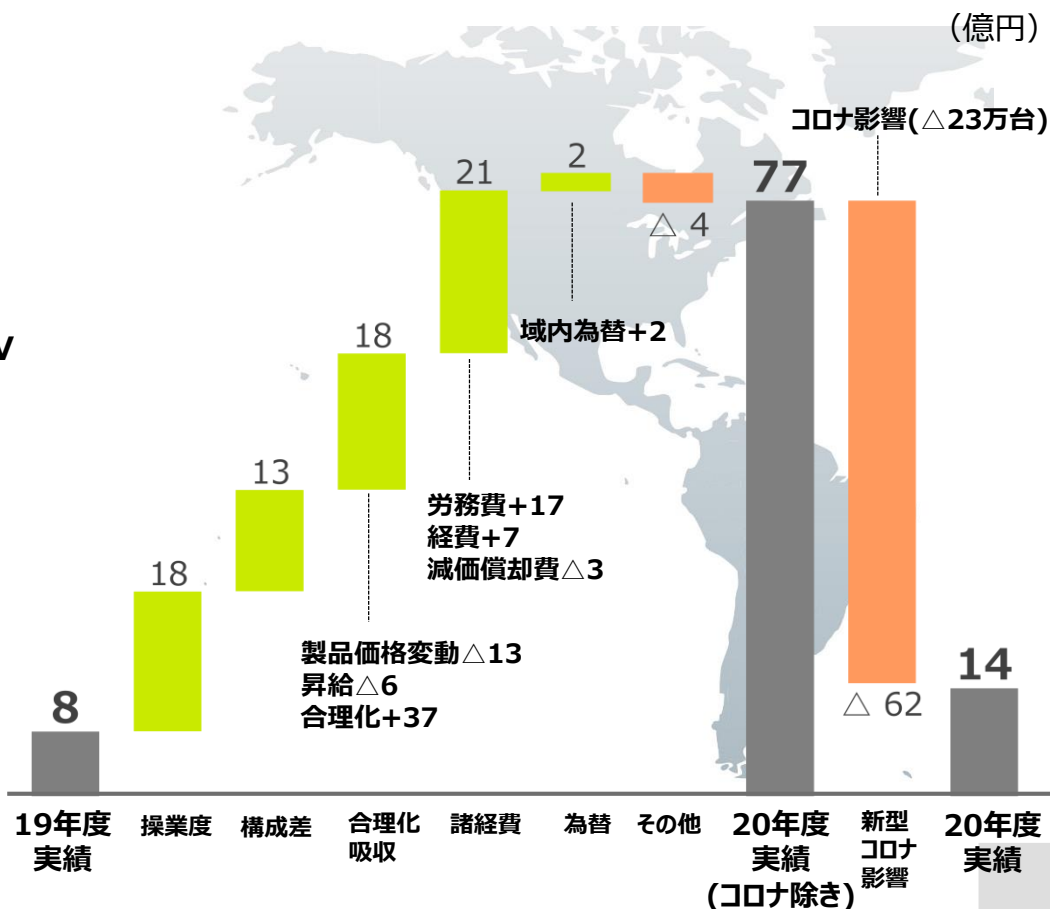
1-5) 2020年度 決算状況 北中南米 売上収益・営業利益

新製品効果や諸経費の効率化により、着実に収益回復

台数・車種構成の変化



営業利益の増減解析（前期比）



当期の経営成績

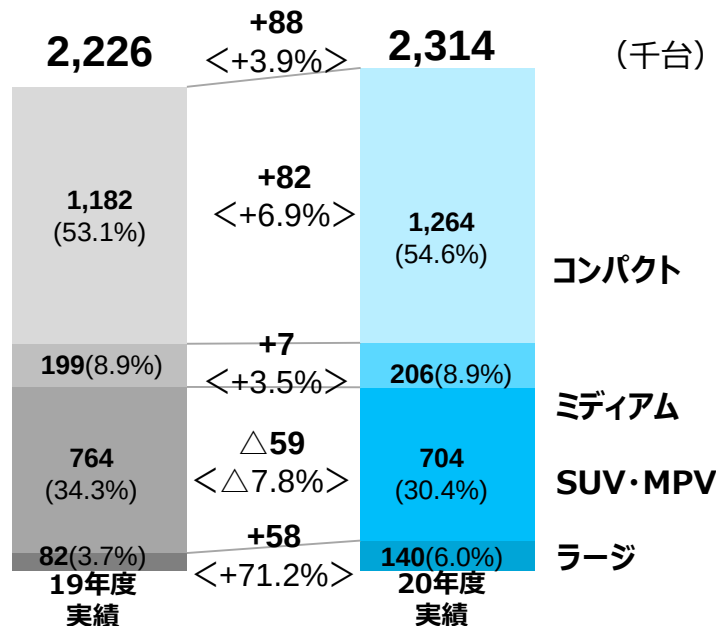
	19年度実績	20年度実績	増減
売上収益	2,729	2,460	△268
営業利益	8	14	6
営業利益率	0.3%	0.6%	-

- ◆次に、北中南米ですが、
- ◆台数は、前期比マイナス13万台の109万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比268億円減少の2,460億円。
- ◆営業利益は、
コロナウィルスによる第1四半期での記録的な
減産影響があったものの、
北米での新製品効果や諸経費の効率化により、
6億円増益の14億円となりました。

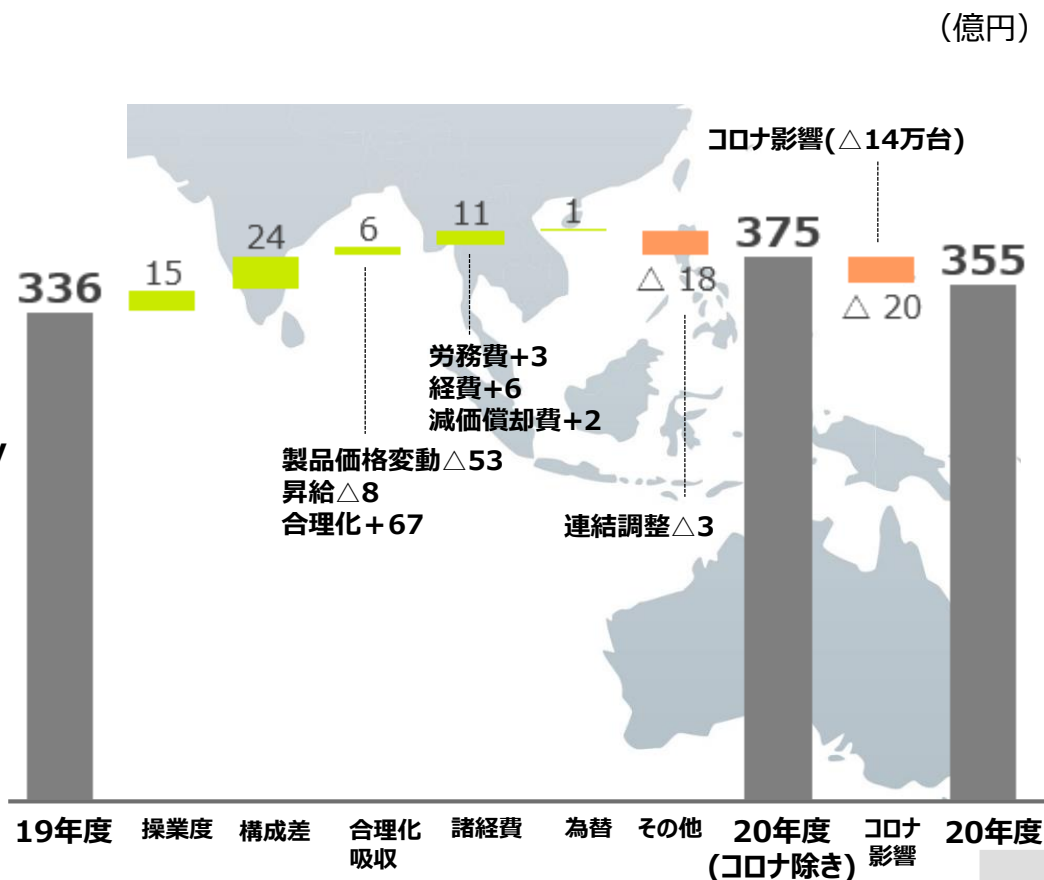
1-6) 2020年度 決算状況 アジア・北アフリカ 売上収益・営業利益

アセアン各国でのコロナ影響はあったものの、中国での新製品効果や諸経費の効率化などにより増益

台数・車種構成の変化



営業利益の増減解析（前期比）



当期の経営成績

(億円)

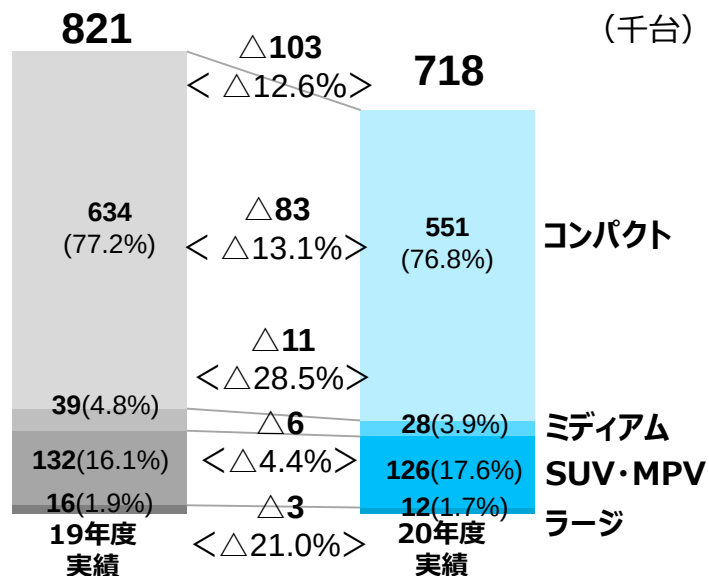
	19年度実績	20年度実績	増減
売上収益	3,338	3,242	△96
営業利益	336	355	19
営業利益率	10.1%	11.0%	-

- ◆次に、アジア・オセアニアですが、
- ◆台数は、アセアン各国やインドでの減産はあったものの中国での増産により、前期比プラス9万台の231万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比96億円減少の3,242億円。
- ◆営業利益は、アセアン各国でコロナ影響はありましたが、中国での新製品効果や、各国での諸経費の効率化などにより、19億円増益の355億円となりました。

1-7) 2020年度 決算状況 欧州・アフリカ 売上収益・営業利益

主に第1四半期でのコロナ影響により減益ではあるものの、諸経費の効率化や為替影響などによりコロナ除きでは増益

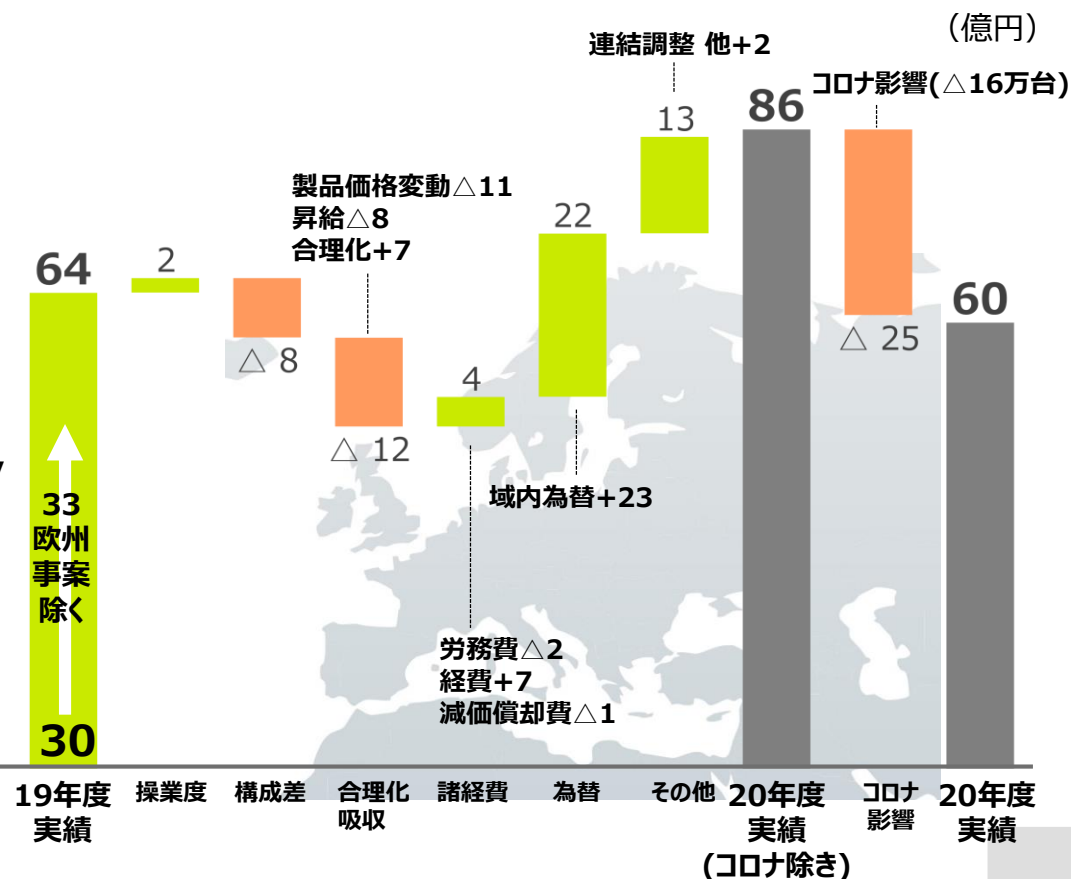
台数・車種構成の変化



当期の経営成績

	19年度実績	20年度実績	増減
売上収益	883	826	△ 57
営業利益	30	60	30
営業利益率	3.4%	7.3%	-

営業利益の増減解析 (前期比)



- ◆次に、欧州・アフリカですが、
- ◆台数は、
前年比マイナス10万台の72万台となりました。
- ◆売上収益は、前期比57億円減少の826億円。
- ◆営業利益は、
主に第1四半期での新型コロナウイルスによる減産影響等により減益となりましたが、諸経費の効率化や為替影響などによりコロナ除きでは増益となりました。

1-8) 2020年度 決算状況 3Q公表時との差異

稼働停止による減産影響はあるものの、更なる諸経費の効率化および営業努力などにより増益

台数・車種構成の変化

7,061	$\Delta 45$ < $\Delta 0.6\%$ >	7,016	(千台)
2,714 (38.4%)	+54 <+2.0%>	2,768 (39.5%)	コンパクト
505(7.2%)	$\Delta 8$ < $\Delta 1.6\%$ >	497(7.1%)	ミディアム
3,491 (49.4%)	$\Delta 92$ < $\Delta 2.6\%$ >	3,399 (48.4%)	SUV・MPV
351(5.0%)	+2 <+0.6%>	353(5.0%)	ラージ
3Q 公表時		実績	

当期の経営成績

	3Q公表時	実績	増減
売上収益	12,800	12,721	$\Delta 79$
営業利益	470	571	101
営業利益率	3.7%	4.5%	-

営業利益の増減解析

(億円)

	3Q 公表時	実績	差異	内 容
19年度	477	477	-	
操業度	$\Delta 170$	$\Delta 180$	$\Delta 10$	・減産影響 (震災、寒波影響)
構成差	$\Delta 75$	$\Delta 25$	+50	・車種構成の変化 ・営業努力 他
合理化吸収	79	87	+8	
諸経費	121	140	+19	・更なる効率化
為替	15	28	+13	・直近の円安影響
その他	23	44	+21	
20年度	470	571	101	

スクリプト

- ◆次に、第3四半期に公表いたしました、営業利益見通し470億円と、実績の571億円の差異についてご説明させていただきます。
- ◆一部地域で稼働停止による減産影響はありましたが、車種構成の変化や営業努力による収益があったことに加え、諸経費の更なる効率化などの収益確保策を進めたことが増益に寄与しました。
- ◆また、直近の円安影響も増益要因となっております。

目次

1. 2020年度 決算状況

2. 2021年度通期 業績予想

3. 参考情報

◆続いて、2021年度の業績予想についてご説明いたします。

2-1) 2021年度通期 業績予想 連結決算概要

(億円)

	20年度 通期実績		21年度 通期予想		増減	
売上収益	12,721	100.0%	14,000	100.0%	1,278	10.1%
営業利益	571	4.5%	720	5.1%	148	26.1%
税引前利益	573	4.5%	730	5.2%	156	27.3%
当期利益*	311	2.5%	470	3.4%	158	50.7%

*親会社の所有者に帰属する当期利益

1株当たり当期利益		166円93銭	251円54銭	84円61銭
為替レート	USドル	106円	105円	△1円
	1-円	124円	125円	+1円

売上収益

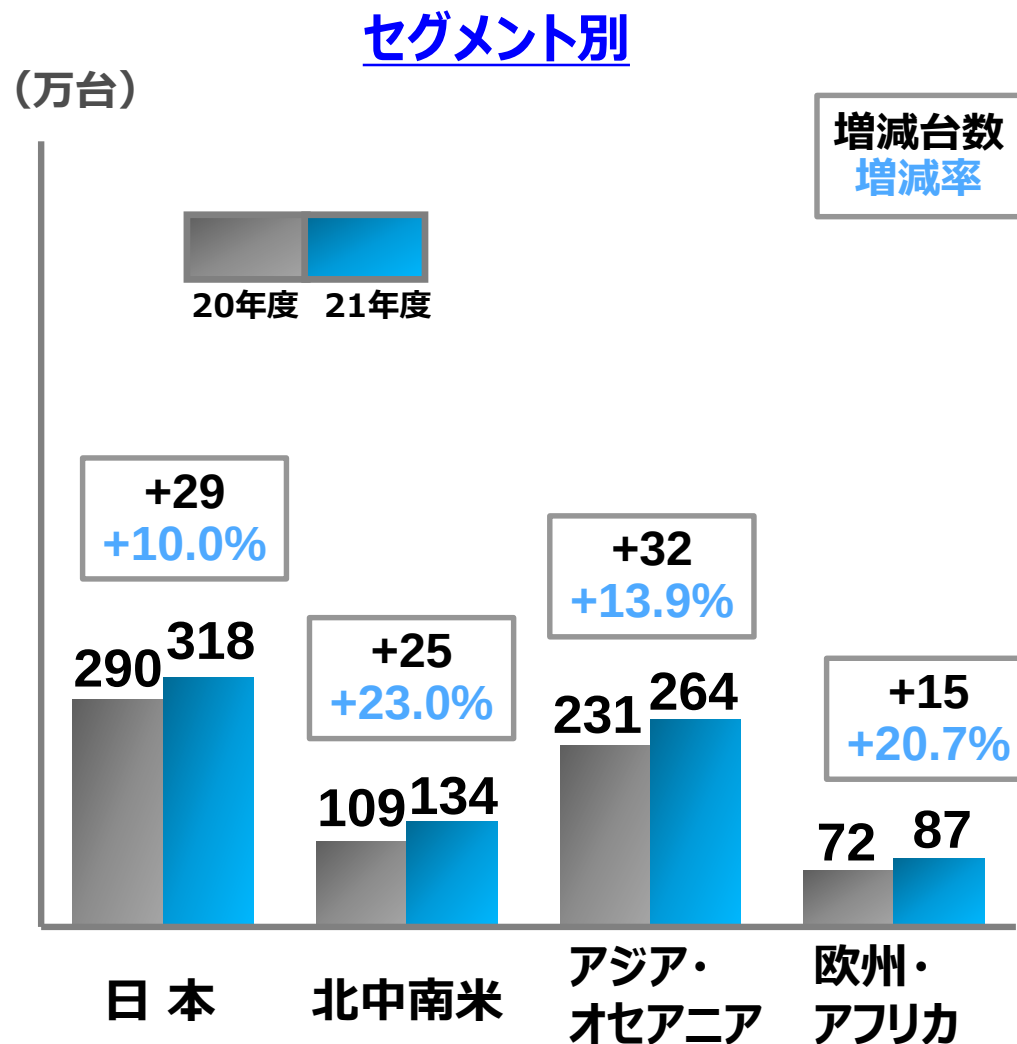
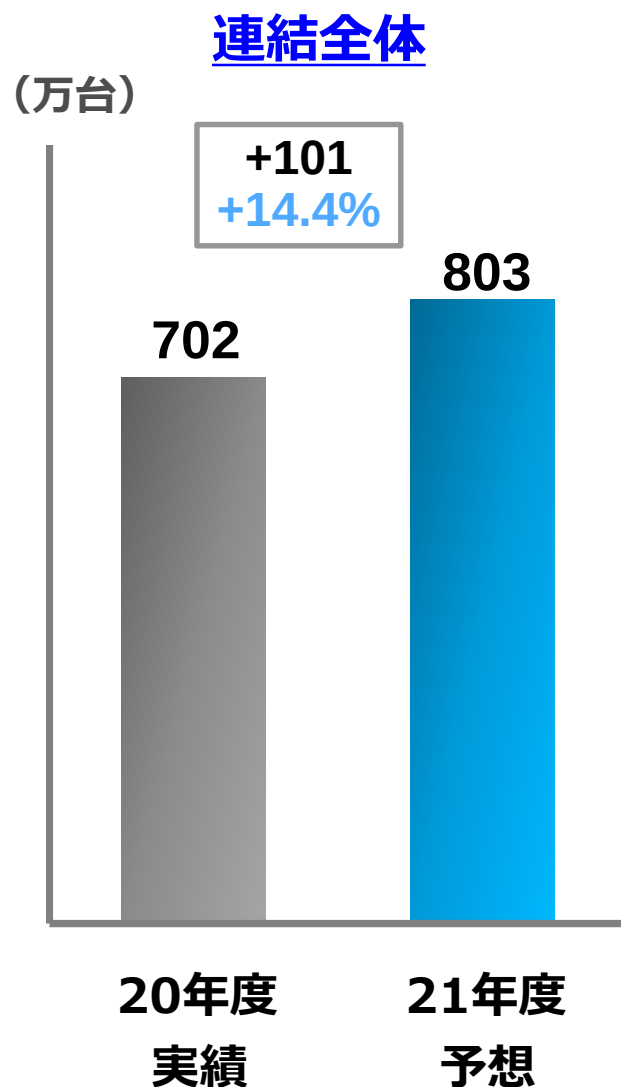
■ コロナ影響や部品供給問題によるリスクはあるものの、グローバルでの需要回復などにより増収となる見込み

営業利益

■ 将来の成長に向けた先行投資などを実施する一方、増産影響やモデルチェンジ等による新製品効果などにより増益となる見込み

- ◆売上収益は、前期比1,278億円増加の1兆,4000億円と予想しております。
- ◆営業利益は、前期比148億円増益の720億円。
- ◆税引前利益は、前期比156億円増益の730億円。
- ◆親会社の所有者に帰属する当期利益は、前期比158億円増益の470億円をそれぞれ予想しております。
- ◆為替レートは、1ドル105円、1ユーロ125円を前提としております。

2-2) 2021年度通期 業績予想 地域別シート生産台数

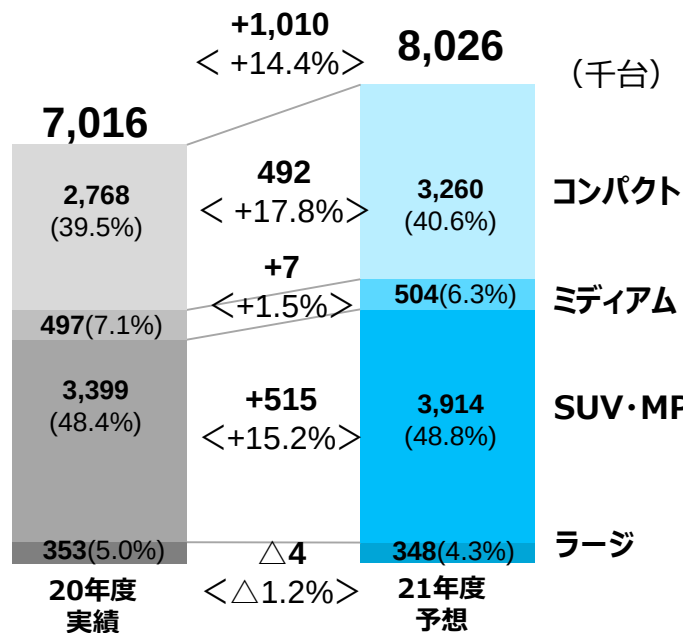


- ◆次に、シート生産台数ですが、
連結全体では、前期比プラス101万台の803万台と
予想しております。
- ◆地域別は、ご覧の通りとなっておりますが、
詳細は、地域別のページにてご説明いたします。

2-3) 2021年度通期 業績予想 連結 売上収益・営業利益

将来の成長に向けた先行投資などを実施する一方、グローバルでの増産影響や、主に日本・中国での新製品効果などにより増益の見込み

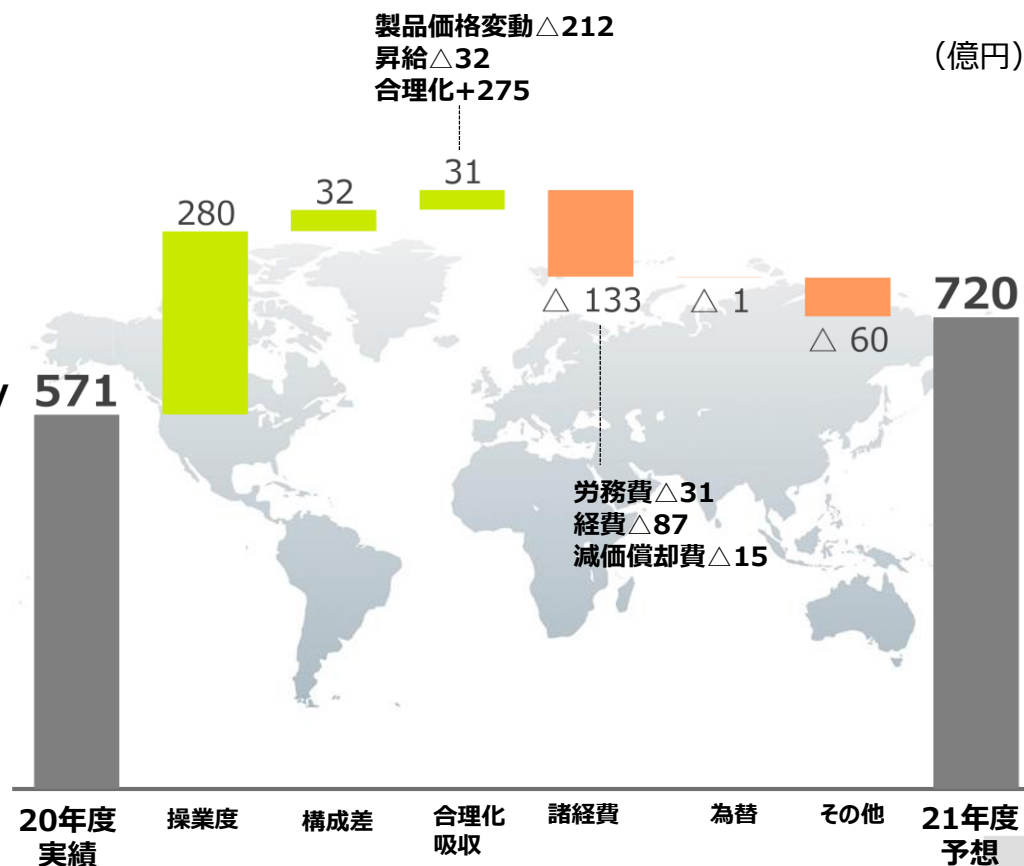
台数・車種構成の変化



当期の経営成績

	20年度実績	21年度予想	増減
売上収益	12,721	14,000	1,278
営業利益	571	720	148
営業利益率	4.5%	5.1%	-

営業利益の増減解析 (前期比)



スクリプト

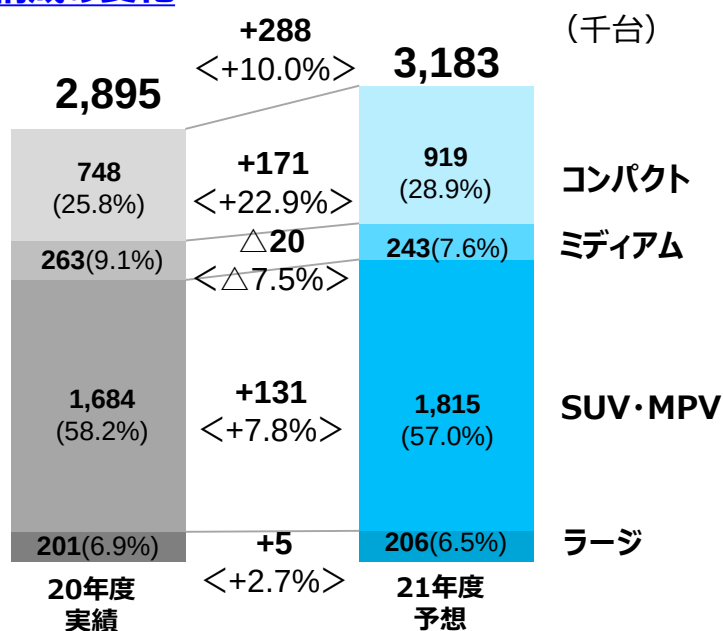
- ◆次に、連結の売上収益・営業利益についてご説明いたします。
- ◆台数・車種構成の変化ですが、
ラージを除く全セグメントでの増産を見込んでおり、
前期比プラス101万台の803万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比1,278億円増加の1兆4,000億円。
- ◆営業利益は、
将来の成長に向けた先行投資などを実施する一方、
グローバルでの増産効果や、主に日本・中国での新製品効果などにより
148億円増益の720億円と想定しており、
収益力は着実に向上しているものと考えております。

2-4) 2021年度通期 業績予想 地域別 売上収益・営業利益

日本

将来投資などによる減益要因はあるが、増産影響や新製品効果により増益の見込み

台数・車種構成の変化



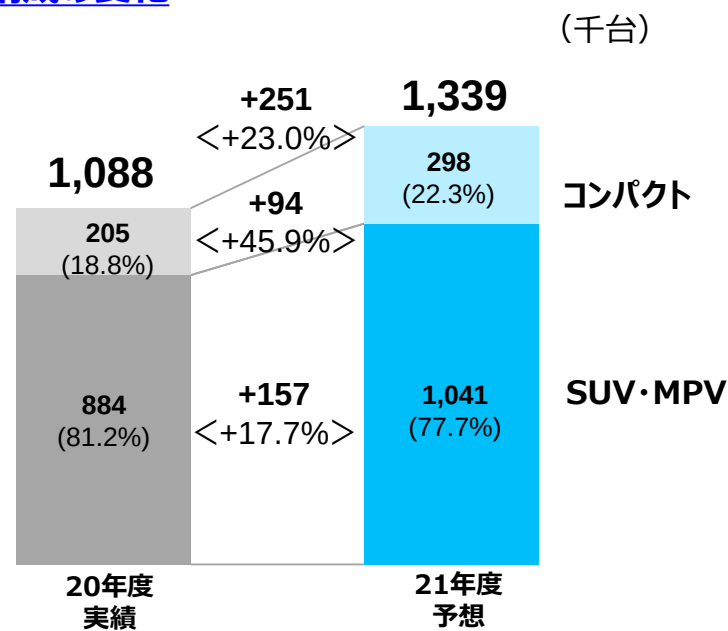
当期の経営成績

	20年度実績	21年度予想	増減
売上収益	6,996	7,600	603
営業利益	140	175	34
営業利益率	2.0%	2.3%	-

北中南米

増産影響や、モデルチェンジに伴う一時的な不効率の解消などにより増益の見込み

台数・車種構成の変化



当期の経営成績

	20年度実績	21年度予想	増減
売上収益	2,460	2,800	339
営業利益	14	120	105
営業利益率	0.6%	4.3%	-

スクリプト

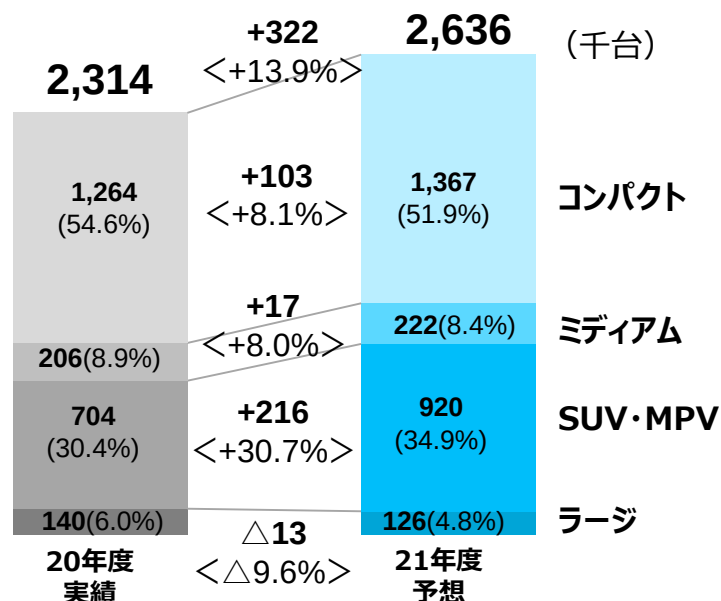
- ◆次に、地域別の業績予想をご説明いたします。まず、日本ですが、
台数は、前期比プラス29万台の、318万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比603億円増加の7,600億円。
- ◆営業利益は、
将来投資などによる減益要因はありますが、
増産影響や新製品効果による増益を見込み
前期比34億円増益の175億円となる見込みです。
- ◆次に、北中南米ですが、
台数は、前期比プラス25万台の134万台となる見通しです。
- ◆売上収益は、前期比339億円増加の2,800億円。
- ◆営業利益は、増産影響や、モデルチェンジに伴う一時的な不効率の解消
などにより前期比105億円増益の120億円となる見込みです。

2-4) 2021年度通期 業績予想 地域別 売上収益・営業利益

アジア・オセアニア

増産影響や中国での新製品効果などにより
増益の見込み

台数・車種構成の変化



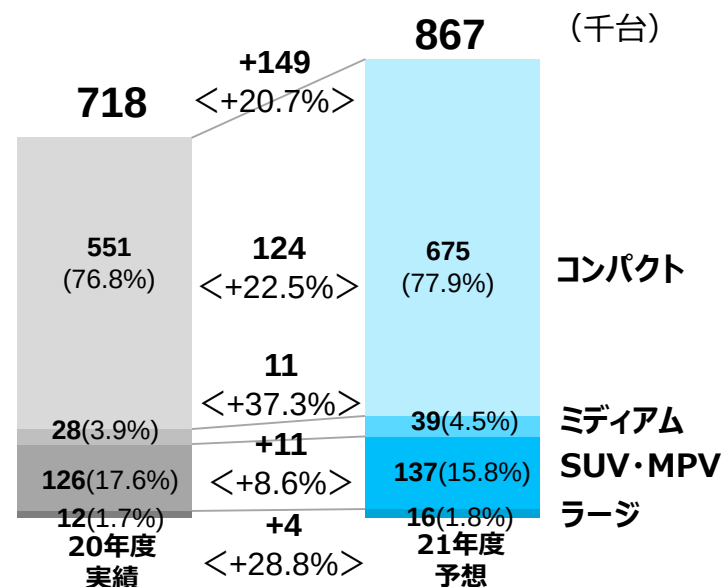
当期の経営成績

	2020年度実績	2021年度予想	増減
売上収益	3,242	3,600	357
営業利益	355	365	9
営業利益率	11.0%	10.1%	-

欧州・アフリカ

諸経費の増加による減益要因はあるものの、
増産影響などにより、ほぼ前年度並みの
営業利益を確保

台数・車種構成の変化



当期の経営成績

	2020年度実績	2021年度予想	増減
売上収益	826	900	73
営業利益	60	60	△0
営業利益率	7.3%	6.7%	-

スクリプト

- ◆次に、アジア・オセアニアですが、
 - ◆台数は、前期比プラス32万台増産の264万台となる見通しです。
 - ◆売上収益は、前期比357億円増加の、3,600億円。
 - ◆営業利益は、増産影響や中国での新製品効果などにより
前期比9億円増益の、365億円となる見込みです。
-
- ◆次に、欧州・アフリカですが、
 - ◆台数は、前期比プラス15万台の87万台となる見通しです。
 - ◆売上収益は、前期比73億円増加の900億円。
 - ◆営業利益は、諸経費の増加による減益要因はありますが、
増産影響などにより、前年並みの60億円となる見込みです。

2-5) 2021年度通期 業績予想（上・下別）

売上収益

（億円）

	2021年度		
	上期	下期	通期
日本	3,700	3,900	7,600
北中南米	1,400	1,400	2,800
アジア・オセアニア	1,600	2,000	3,600
欧州・アフリカ	400	500	900
連結全体	6,700	7,300	14,000

営業利益

（億円）

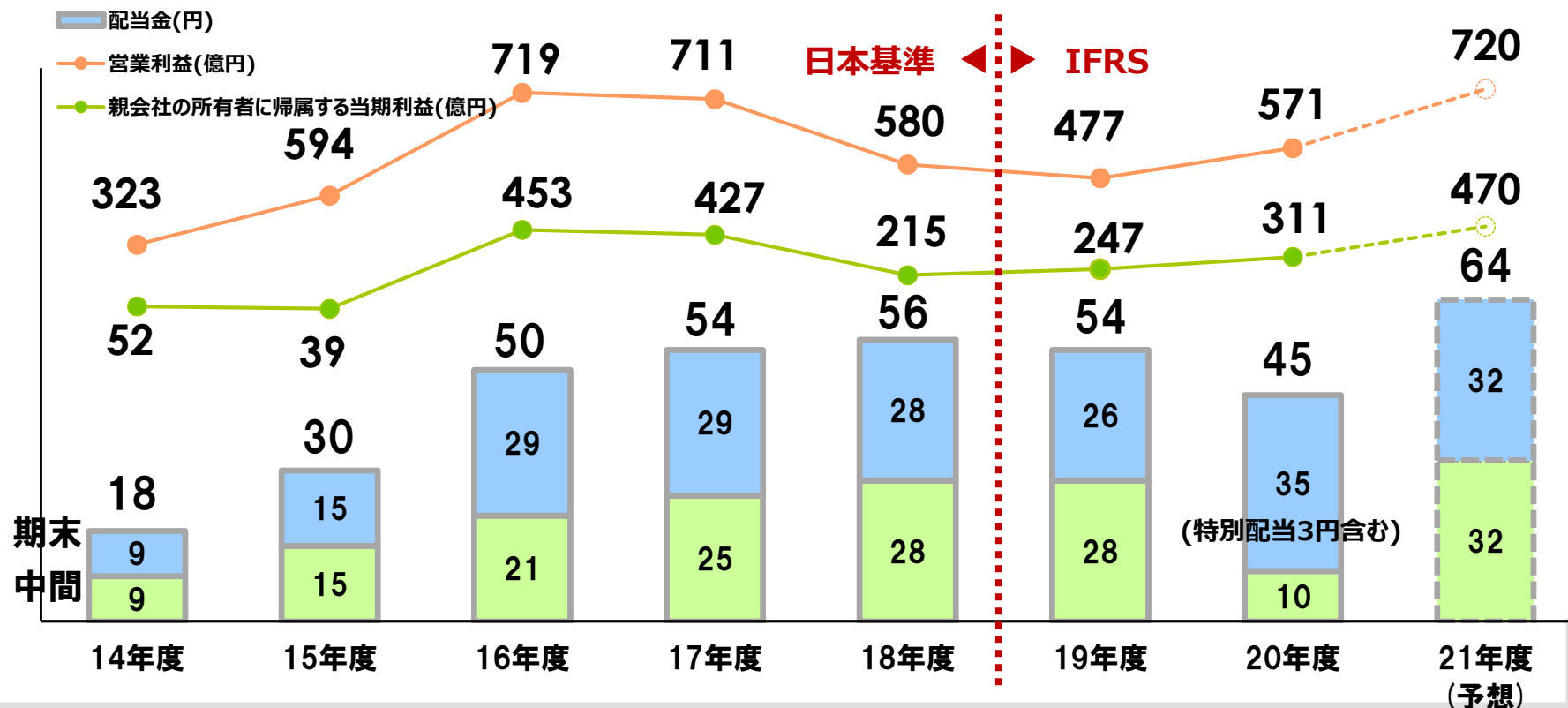
	2021年度					
	上期		下期		通期	
日本	60	1.6%	115	2.9%	175	2.3%
北中南米	60	4.3%	60	4.3%	120	4.3%
アジア・オセアニア	165	10.3%	200	10.0%	365	10.1%
欧州・アフリカ	15	3.8%	45	9.0%	60	6.7%
連結全体	300	4.5%	420	5.8%	720	5.1%

- ◆なお、上・下別の売上収益・営業利益につきましては
ご覧いただいた通りです。

2-6) 2021年度 通期予想 株主還元

- 20年度は、株主の皆様への還元として特別配当3円を含む年間45円
- 21年度は、20年度比で19円増配の年間64円を予定

配当金および営業利益、当期利益の推移



- ◆次に、配当金でございますが、20年度につきましては、株主の皆様への還元として、特別配当3円を含む年間45円、21年度は、前年比19円増配の年間64円とさせていただく予定です。

2-7) 2020年度 期末決算 総括

【20年上期】

減産状況下における**生産現場での需要変動への柔軟な対応**に加え、**やめる・減らす・変える活動、リモート業務など諸経費の効率化**など、**稼ぐ力を確実に強化**することで、**営業利益は黒字を確保**

【20年下期】

上期での体質強化に加え**収益向上策継続**により、**増産効果を最大限享受**すると共に、**営業努力**などもあり、**半期では過去最高の営業利益**

【21年度】

前年緊急対応からの**諸経費増加は、新製品効果等で吸収**するなど、**稼ぐ力を確実に強化**すると共に、**2025経営計画目標達成に向けた重点取り組み事項を着実に実施**し、**持続可能な成長を図る**

スクリプト

- ◆最後に、当期末決算を総括させていただきます。
- ◆当年上期におきましては、減産状況下における生産現場での需要変動への柔軟な対応に加え、やめる・減らす・変える活動、リモート業務など諸経費の効率化など、稼ぐ力を確実に強化することで黒字を確保いたしました。
- ◆一方、下期におきましては、上期での体質強化に加え収益向上策継続により、増産効果を最大限享受すると共に、一過性の収益もあり、半期では過去最高の営業利益となりました。
- ◆来期以降は、前年緊急対応からの諸経費増加は、新製品効果等で吸収するなど、稼ぐ力を確実に強化すると共に、2025経営計画目標達成に向けた、重点取り組み事項を着実に実施し、持続可能な成長を目指してまいります。
- ◆以上をもちまして、2020年度期末の決算説明を終了させていただきます。ありがとうございました。

目次

1. 2020年度 決算状況

2. 2021年度通期 業績予想

3. 参考情報

参考1) 連結財政状態計算書の状況(21/3末)

流動資産

4,575億円

5,068億円

- ・操業度回復に伴う売上増による営業債権等の増加

+493

非流動資産

3,231億円

3,389億円

- ・グローバル本社建設に伴う有形固定資産の増加等

+157

資産

8,457億円
(前年度末7,807億円)

負債

4,590億円

4,761億円

- ・コロナ対応による資金調達
- ・操業度回復に伴う仕入増による営業債務の増加

+171

資本

3,217億円

3,696億円

+479

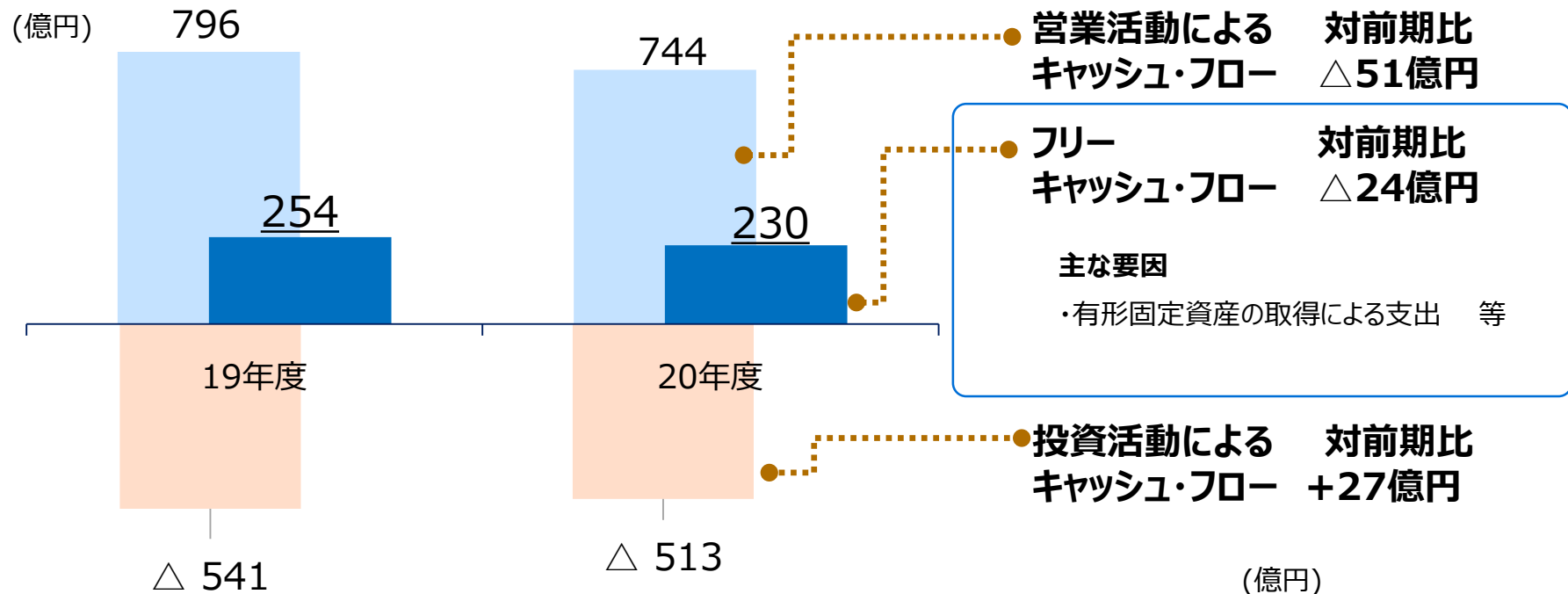
親会社所有者
帰属持分比率

37.3%

39.6%

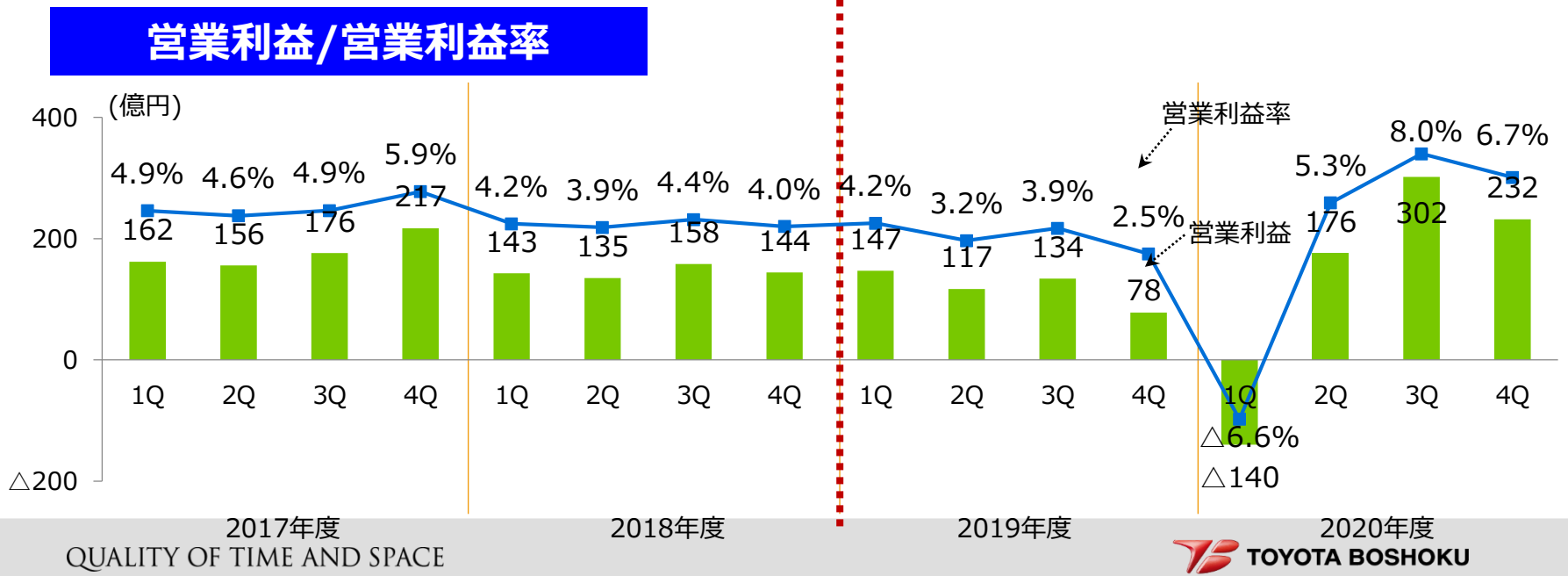
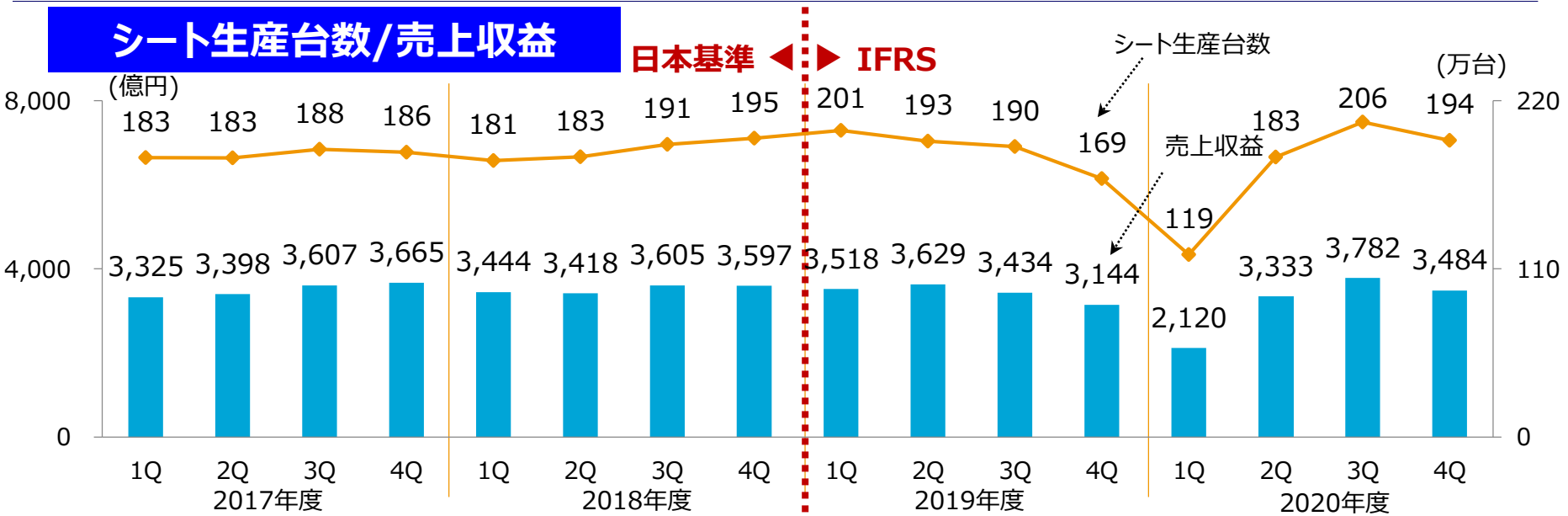
○ : 対前年度末比(億円)

参考2) 連結キャッシュフローの状況



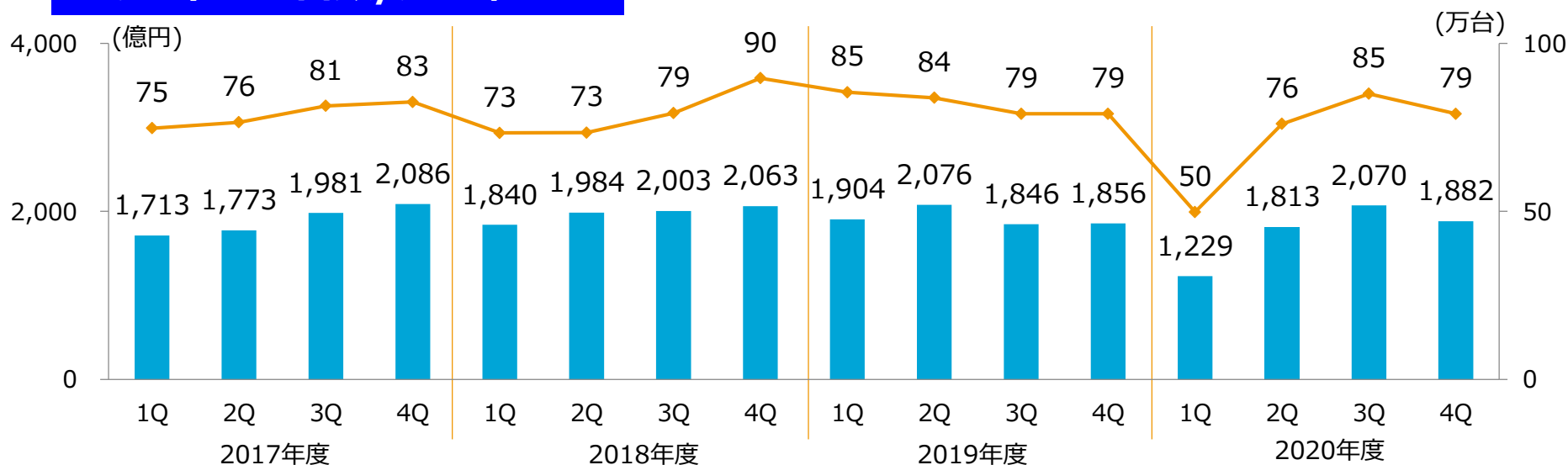
	19年度	20年度	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	796	744	△ 51
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 541	△ 513	27
フリーキャッシュ・フロー	254	230	△ 24
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 139	27	167
為替変動による影響額	△ 63	59	123
現金及び現金同等物の増減額	51	318	266
現金及び現金同等物の残高	1,633	1,951	318

参考3) 四半期推移 連結 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

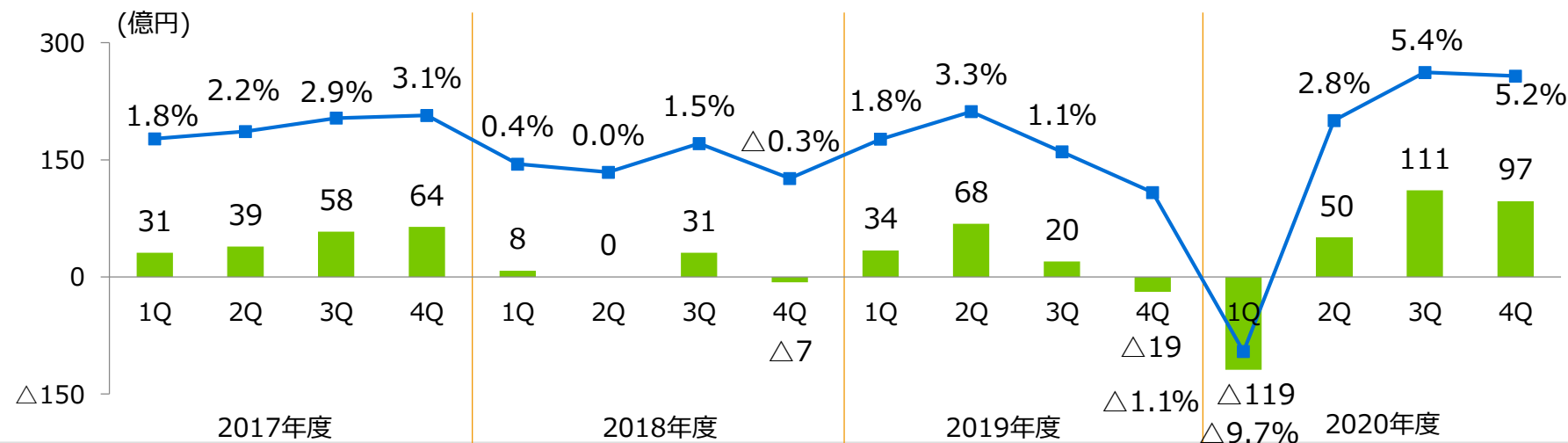


参考4) 四半期推移 日本 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益

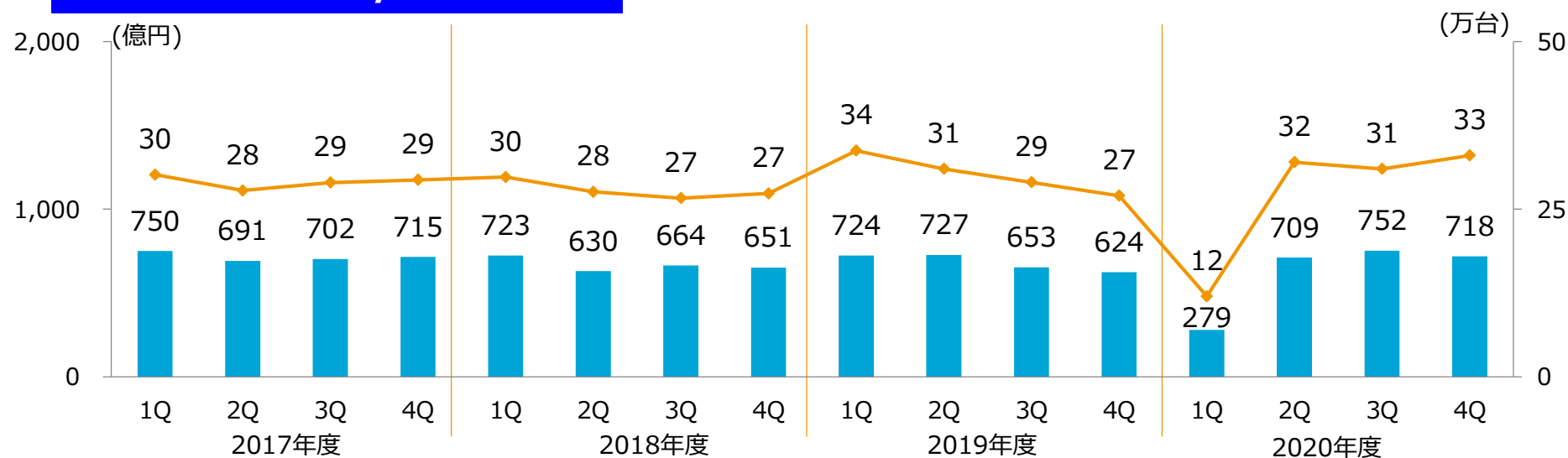


営業利益/営業利益率

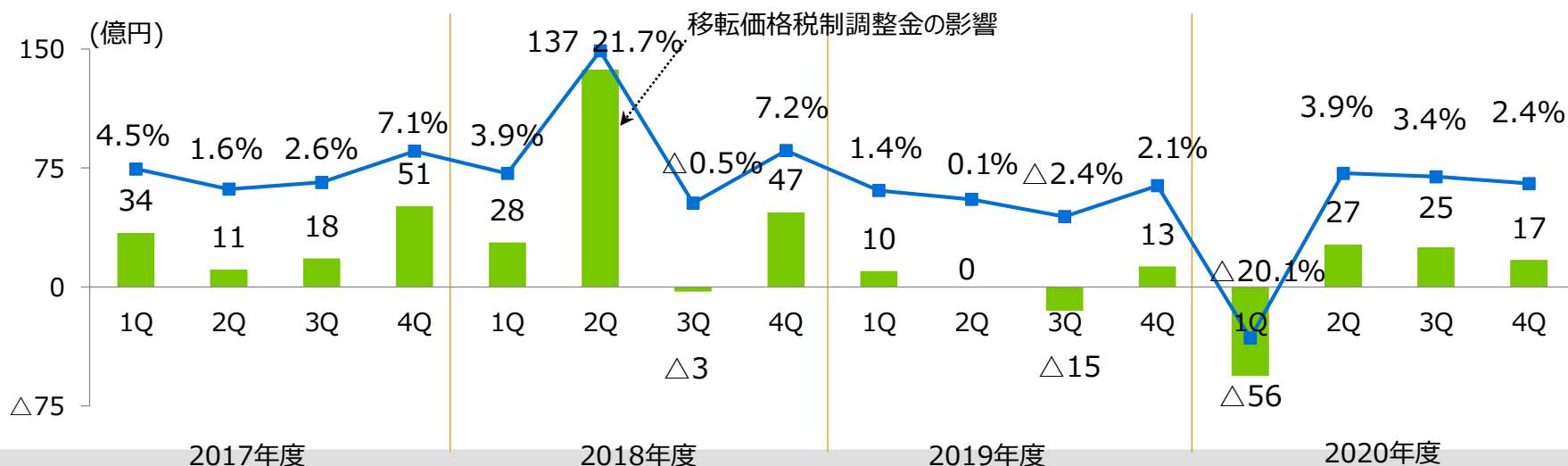


参考5) 四半期推移 北中南米 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益

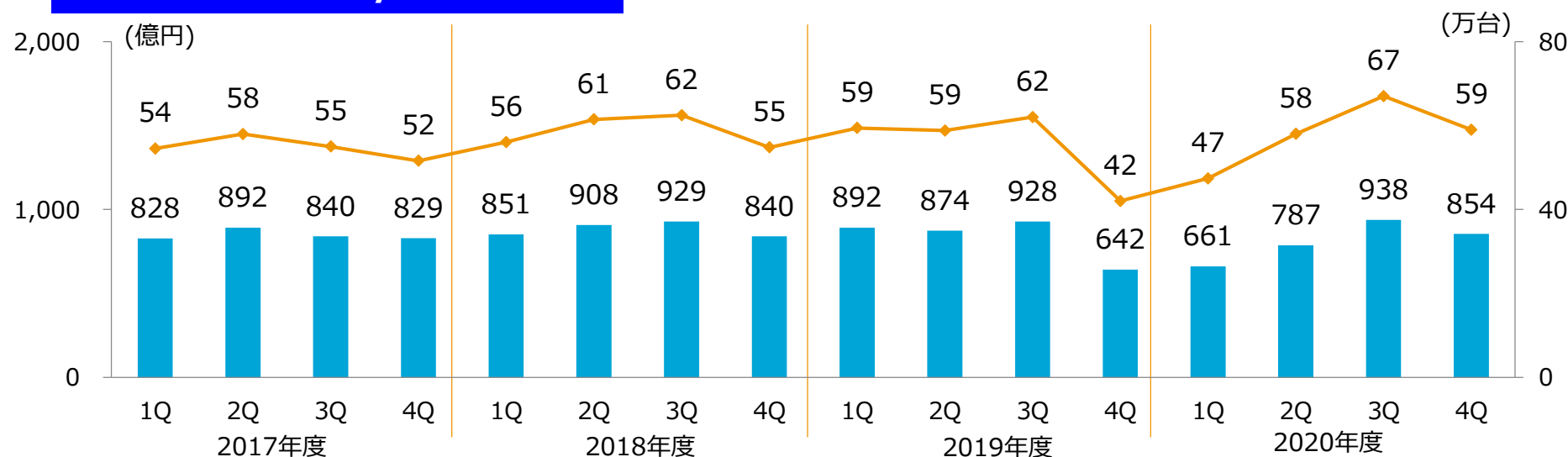


営業利益/営業利益率

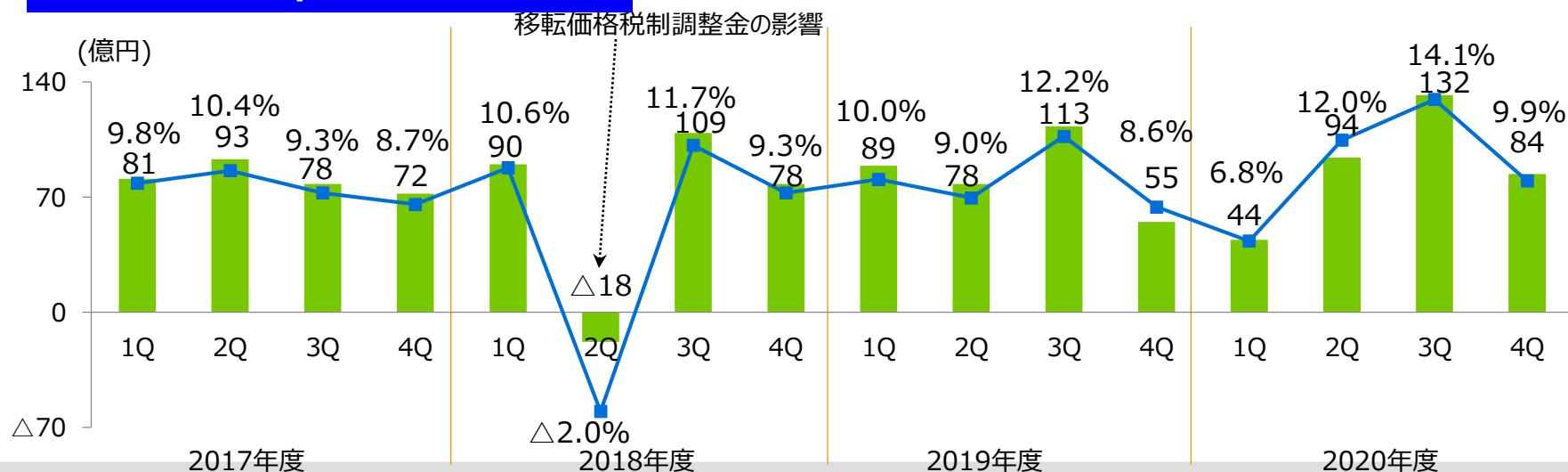


参考6) 四半期推移 アジア・北アフリカ 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益

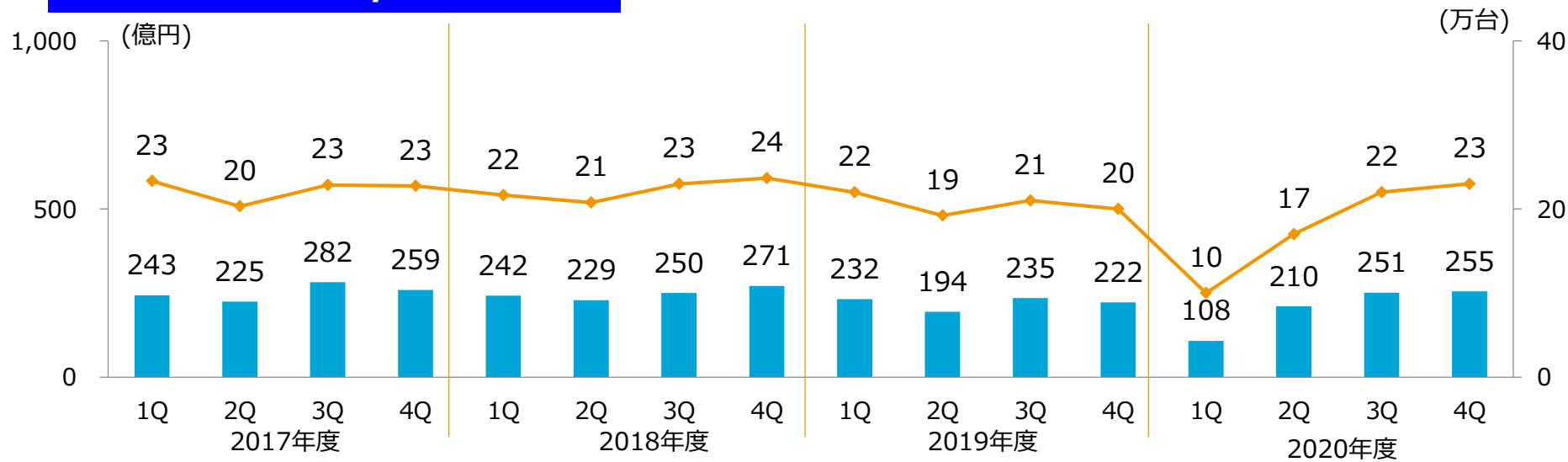


営業利益/営業利益率

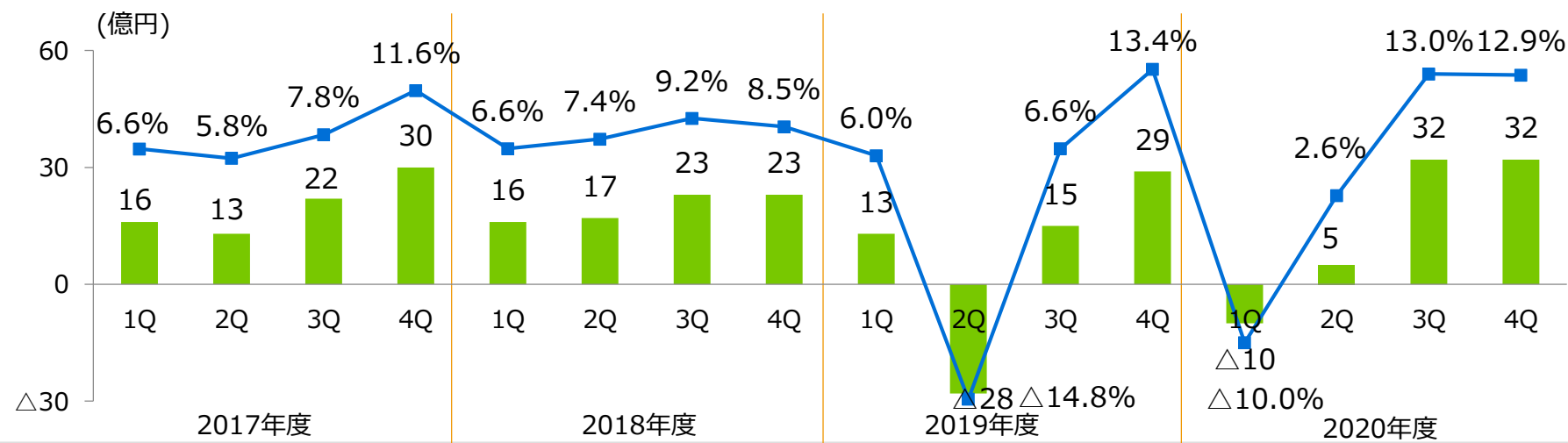


参考7) 四半期推移 欧州・アフリカ 台数・売上収益・営業利益・営業利益率

シート生産台数/売上収益



営業利益/営業利益率





<注意事項>

本資料に記載されている将来に関する業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想値であり、不確実性やリスクを含んでおります。

そのため 実際の結果は様々な要因によって業績予想と異なる可能性があります。